



こんぺいとう

「病児室たより」R8年4月第1号

R8年度 登録児受付中

暖かい日が増えて、春の訪れと共に新年度がスタートしました。ご入園、ご進級おめでとうございます。子どもたちが新しい環境の中でも、健康で元気いっぱい楽しく過ごせるよう、「病児室たより」を通じて病気の予防や感染状況をお知らせし、見守っていきたく思います。もし、子どもたちの体調に不安を感じ、親御さんの勤務状況でお休みが取れない時には、お預かりし安心して過ごせるよう、保育士と看護師が療養と看護を提供していきますので、まずはご相談ください。今年度もよろしくお願いたします。

<新生活スタートです。生活リズムを整えよう>



生後4か月頃から昼夜の区別がついてくると言われています。

新年度は体調を崩しやすい時期。元気に過ごすためにも生活リズムを整えましょう。

・早寝早起きをしよう

睡眠は脳や体の発育も促す大切な時間です。夜は9時頃までには布団に入り、朝は決まった時間に目覚める工夫をしましょう。

1日の睡眠時間：生後6か月：13～14時間

1～3歳：11～12時間

小学生になると：10～11時間



・朝食はしっかり食べよう

朝ごはんを食べると体が目覚めて、その日1日を元気に過ごせます。

また、朝食を摂ることで腸が動き出し、排便リズムも整いやすくなります。

・たくさん遊びましょう

日中はたくさん遊んで体と心を動かしましょう。お休みの日も同じ時間帯でお昼寝すると生活リズムが乱れにくくなります。

【病児保育登録】 令和8年度、病児保育の登録受付を開始しています。急な発熱や体調不良に慌てないよう、病児保育の登録をご検討ください。

(お預かりは登録者優先になります) ホームページにも掲載しております

NPO法人 オープンハウスこんぺいとう

病児保育室 利用時間 8:30～17:30



<病児室の様子>

2月3月の利用児は 23名 (病名 感冒 気管支炎 急性胃腸炎)

2・3月は季節の変わり目なのか、胃腸炎や発熱した新規の子どもたちの利用が増えました。初めての児は、いつものように玄関先で大泣きです。30分以上も落ち着かない子どもいましたが、そんな時に助けてくれたのが病児利用のお兄さんでした。自分も辛いはずなのに、「決闘ごっこ」や「ままごと遊び」等をして寄り添ってくれたりと面倒をみてくれて、そのお陰で、ママたちのお迎えまで子どもたちは頑張れました。また、持参したお薬などイヤイヤする子も中にはいますが、お話しすると素直に飲んでくれます。割にみんな上手に服用してくれます。これはママたちが子どもたちに薬のお話をしてくれてるお陰ですね。玩具で遊んでいても「お熱測るよ」の声掛けに、ちょこんと膝に乗ってきた時は、ちょっとした癒しの時間。それつかの間、子どもたちは賑やかに、元気にお気に入りおもちゃで、お迎えが来るまで遊び続けています。



これからも季節ごとに感染症は発生します。元気に過ごせるよう、引き続き日常的な感染対策を継続しましょう。

<県内の感染動向> 3/2 現在

インフルエンザ	コロナ感染症	感染症胃腸炎
県内 538人	県内 67人	県内 158人
最上 38人	最上 7人	最上 12人



第1・3金曜日17:30～駅前「たまりば」で地域食堂を行っています。詳しくは、tel 080-3144-3009